エバーゴルプラス箱粒剤(イミダクロプリド・クロラントラニリプロール・イソチアニル・ペンフル

適用病害虫と使用方法

2021年10月27日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使 用回数	使用方法	イミダクロプ リドを含む農 薬の総使用回 数	クロラントラ ニリプロール を含む農薬の 総使用回数	イソチアニル を含む農薬の 総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 内 時 村 時 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村	高は場/10a メ10a (30 (30 (30 (30 (30 (30 (30 (30	移植3日前~ 移植当日	10	育苗箱の上から均って、散布する	3回は 植 の 回 本 散 以 内 移 で は 1 の 以 の で は 2 回 以 内 の 回 本 布 は 2 回 の 回 の 回 の 回 の 回 の の 回 の の 回 の の 回 の	10	3回以内(但し、移 値処処内で 回以田での 本の以内では2	10
	いもち病			- - -	育苗箱の床				
	対抗病 ウンカ類 イネミス、ソ、ウムシ イネト、ロオイムシ コア、ノメイカ、 ニカメイチュウ フタオヒ、コヤカ、 ツマク、ロヨコハ、イ		10·1至 日刊		土又は覆土 に均一に混 和する				

エバーゴルプラス箱粒剤(イミダクロプリド・クロラントラニリプロール・イソチアニル・ペンフル

適用病害虫と使用方法

2021年10月27日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使 用回数	使用方法	イミダクロプ リドを含む農 薬の総使用回 数	クロラントラ ニリプロール を含む農薬の 総使用回数	総使用回数	ペンフルフェ ンを含む農薬 の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 対枯病 ウンカ類 イネミス゛ソ゛ウムシ イネト゛ロオイムシ コフ゛ノメイカ゛ ニカメイチュウ フタオヒ゛コヤカ゛ ツマク゛ロヨコハ゛イ イネツトムシ	育苗箱(3 0×60×3c m、使用土 壌約5L)1 箱当り50g	は種前	10	育苗箱の床 土又は覆土 に均一に混 和する	3回以内(但し、移 値の以内の 回以内での 本布は2回 以内)	10	3回以内(但し、移 植時処理は1 回以内では2 回以内(本回以内)	10
	疑似紋枯症(赤 色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐 色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐 色紋枯病菌) もみ枯細菌病		移植当日		育苗箱の上 から均一に 散布する				
		高密度には 種する場/10a (育苗箱(30×60×3c m、使用土 壌約5L) 1 箱当り50~ 100g)							

エバーゴルプラス箱粒剤(イミダクロプリド・クロラントラニリプロール・イソチアニル・ペンフル

適用病害虫と使用方法

2021年10月27日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使 用回数		リドを含む農 薬の総使用回	クロラントラ ニリプロール を含む農薬の 総使用回数	イソチアニル を含む農薬の 総使用回数	ペンフルフェ ンを含む農薬 の総使用回数
稲(箱育苗)	疑似軟柱症 (赤色蘭枝病蘭) 疑似軟柱症 (褐色蘭枝病蘭) 疑似軟柱症 (褐色敵柱病蘭) もみ粘細菌病	高密度には種する場合は1kg/10 a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り50~100g)	移植当日	10	育苗箱の上から均一に 散布する	3回以内(但し、移植時まで の処理は1回以内、本田での 散布は2回以内)		3回以内(但し、移植時まで の処理は1回以内、本田では 2回以内)	10